

2026年度

# 学生募集要項

一般選抜

尾道市立大学

- ◆経済情報学部 経済情報学科
- ◆芸術文化学部 日本文学科
- ◆芸術文化学部 美術学科

## 《入学定員、募集人員》

学 部	学 科	入学 定員	募集人員					
			一般選抜		学校推薦型選抜			私費外国人 留学生選抜
			前期 日程	後期 日程	一般 推薦	特別推薦(*1)		
						A 尾道市内 推薦	B 商業・ 総合学科 等推薦	
経済情報	経済情報	200	100	30(*2)	35	7	28	若干名
芸術文化	日本文学	50	30	5	15	/	/	若干名
	美術	50	23	15	12	/	/	若干名
合 計		300	153	50	62	7	28	若干名

\*1：経済情報学部経済情報学科の特別推薦については、尾道市内にある高等学校等に在籍、または尾道市内に在住している高校生で地域貢献・社会貢献への強い関心を持っている人、商業・総合学科等の高校生で経済・経営・情報を学ぶ意欲の高い人に、特に受験機会を与えるため募集を行います。

\*2：経済情報学部経済情報学科の一般選抜 後期日程は、Aコース15人（教科・科目に係る個別テストで数学を課す）と、Bコース15人（教科・科目に係る個別テストで英語を課す）に分けて募集します。  
どちらかの選択になります。

## 《入学者選抜実施日程》

選抜 名称	学部	学科	出願期間	試験日	合格発表	入学 手続期間	
学校推薦 型選抜	経済情報	経済情報	2025年11月4日(火) ～11月11日(火)	2025年11月23日(日)	2025年12月1日(月)	2025年12月2日(火) ～12月9日(火)	
	芸術文化	日本文学		2025年11月23日(日)			
		美術		2025年11月22日(土) ～11月23日(日)			
一般選 抜	前期	経済情報	2026年1月26日(月) ～2月4日(水)	2026年2月25日(水)	2026年3月5日(木)	2026年3月6日(金) ～3月15日(日)	
		芸術文化		日本文学			2026年2月25日(水)
				美術			2026年2月25日(水) ～2月26日(木)
	後期	経済情報	2026年1月26日(月) ～2月4日(水)	2026年3月12日(木)	2026年3月20日(金)	2026年3月23日(月) ～3月27日(金)	
		芸術文化		日本文学			2026年3月12日(木)
				美術			2026年3月12日(木) ～3月13日(金)
私費外国 人留学生 選抜	経済情報	2026年1月5日(月) ～1月14日(水)	2026年2月25日(水)	2026年3月5日(木)	2026年3月6日(金) ～3月13日(金)		
	芸術文化		日本文学			2026年2月25日(水)	
			美術			2026年2月25日(水) ～2月26日(木)	

# 目 次

I. 出願資格.....	1
II. 出願手続.....	1
III. 入学者選抜方法.....	5
IV. 教科・科目に係る個別テスト等の日時および内容.....	10
V. 試験会場.....	12
VI. 受験上の注意事項.....	12
VII. 不正行為.....	13
VIII. 合格発表.....	13
IX. 入学手続.....	13
X. 諸経費その他.....	15
XI. 減免手続.....	15
XII. 追加合格.....	15
XIII. 個人に関する入試情報の開示.....	16
XIV. 尾道市立大学へのアクセス.....	17
別添1 経済情報学部経済情報学科の取得資格・検定等への加点に関して.....	18
別添2 芸術文化学部日本文学科の「高等学校入学以降の主体的な取り組み」への加点に関して.....	20
入学者の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）.....	21

## I. 出願資格

次の各項のいずれかに該当し、令和8年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目（5～9頁参照）を受験した者とします。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および2026年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2026年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者

注) 学校教育法施行規則第150条第7号の規定により、出願を希望する者については、本学における個別の入学資格審査を受け、入学資格を認められた場合に限り出願を認めます。申請期限は次のとおりです。詳細については、お問い合わせください。

- ・大学入学共通テストに出願しようとする者 2025年8月29日（金）
- ・大学入学共通テスト出願後に、入学資格審査を希望する者  
大学入学共通テスト出願期間終了後～2026年1月19日（月）

## II. 出願手続

### インターネット出願で受け付けます。

出願は、本学ホームページ (<https://www.onomichi-u.ac.jp/>) から

- ① 右側サイドメニュー「インターネット出願」より専用サイトにて出願登録
- ② 入学検定料の支払い
- ③ 出願書類を締切日までに郵送することにより完了します。登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続き完了とはなりません。出願書類の印刷及び郵送による提出が必要です。

\* **インターネット出願では、出願登録の際にメールアドレス（フリーメールのアドレスも可）と志願者本人の写真データが必要です。**

### (1) 出願期間

インターネット出願の登録期間	2026年1月26日（月）～2月4日（水）の15：30まで
入学検定料支払期限	出願登録翌日の23：59まで ただし、 <u>2月3日（火）、2月4日（水）に出願登録した者は2月4日（水）の16：00まで</u>
インターネット出願登録後の出願書類提出期間	2026年1月26日（月）～2月4日（水）（消印有効）

\* 出願登録後に内容を修正する場合は、入学検定料の支払を行わず、再度ははじめから登録をやり直してください。

### (2) インターネット出願サイトへのアクセス

本学ホームページ (<https://www.onomichi-u.ac.jp/>) へアクセスし、「インターネット出願」をクリックしてアクセスしてください。

### (3) 出願方法

- ① 2頁「(5) インターネット出願の利用手順」の記載を確認し、インターネットから出願登録の上、入学検定料（18,000円）の支払いを行い、出願してください。  
なお、インターネットから出願登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続き完了となりません。出願書類の印刷及び郵送による提出が必要です。
- ② インターネット出願登録時に、スマートフォンやデジタルカメラ等で撮影した志願者本人の写真データ（JPEG形式かつ100KB以上3MB以内）をアップロードにより提出してください。  
\* 写真データは、出願前6か月以内に撮影したもので、正面上半身（胸から上）、無帽、無背景とし、志願者本人の顔が明確に確認できるものを提出してください。大学入学共通テストの出願時に登録した写真データを登録しても差し支えありません（登録できない場合は、新たに撮影してください）。
- ③ インターネット出願登録及び入学検定料の支払い完了後、出願書類送付用封筒（角形2号（24cm×33.2cm））を用意し、「封筒貼付用宛名シート」を印刷して封筒の表側に貼ってください。  
\* 事情により「封筒貼付用宛名シート」が出力できない場合は「(4) 出願書類提出先」へ「イン

ターネット出願書類在中」と朱書してください。

\* 提出が必要な出願書類は、3頁「(6) インターネット出願登録後に提出が必要な書類」を確認してください。

- ④ 出願書類の提出は、「簡易書留速達」扱いの郵送、または、直接持参により提出してください。直接持参の場合の受付時間は平日の9:00から17:00までとします。
- ⑤ 志願者本人がインターネット利用環境を持たない場合は、保護者等の所有する端末を用いる、又は図書館等の公共施設のパソコンのインターネット環境を利用する等でも出願が可能です。
- ⑥ 事情により、インターネットが利用できない方は、あらかじめ入学試験実施本部(0848-22-8381)へご相談ください。

#### (4) 出願書類提出先

〒722-8506 広島県尾道市久山田町1600番地2  
尾道市立大学 入学試験実施本部  
TEL (0848) 22-8311 (代表)  
(0848) 22-8381 (直通)

#### (5) インターネット出願の利用手順

##### ① インターネット出願サイトへアクセス

本学ホームページ (<https://www.onomichi-u.ac.jp/>) へアクセスし、右側サイドメニューより「インターネット出願」をクリックしてPost@netにログインしてください。(Post@netに初めてアクセスする場合は「新規登録」ボタンからアカウントを作成してください。)

##### ② インターネット出願登録

- ・ 学校一覧から本学を選択し「はじめに」をクリックして出願の手順や注意事項を必ず確認してください。
- ・ メニューの『出願登録』ボタンから、個人情報等の登録及び志願者本人の写真データ(JPEG形式かつ100KB以上3MB以内)のアップロードによる提出を行ってください。
- \* 大学入学共通テストにおける成績請求に必要な成績請求票番号等の情報を本学に提出していただきます。手続き方法は「Web方式」です。個人情報等の登録時に併せて登録してください。
- \* 出願登録の際にメールアドレスが必要です(フリーメールのアドレス利用可)。登録されたメールアドレスは、出願登録完了の通知や入金完了の通知に使用します。受信設定においてドメイン指定をしている場合は、(@onomichi-u.ac.jp および @postanet.jp) のメールを受信できるように設定してください。
- \* 出願登録後に内容を修正する場合は、入学検定料の支払いを行わず、再度はじめから登録をやり直してください。(支払いを行わなかった場合は、一定期間経過後、自動的にキャンセルとなります。)

##### ③ 入学検定料(18,000円)の支払

コンビニ、クレジットカード、金融機関ATM(Pay-easy)の決済方法が選択できます。

\* 支払手数料は入学検定料に含まれます。

##### ④ 登録完了・出願書類の印刷

- ・ Post@netにログインし出願内容一覧から本学を選択しメニューの「出願内容を確認」ボタンから、「入学志願票」、「封筒貼付用宛名シート」を印刷(A4・片面)してください。

##### ⑤ 書類の提出準備

- ・ 提出が必要な出願書類(調査書等)を準備してください。
- ・ 角形2号封筒(24cm×33.2cm)を準備し、印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼ってください。
- \* 3頁「(6) インターネット出願登録後に提出が必要な書類」の記載を確認してください。

##### ⑥ 書類の提出

⑤で準備した書類を角形2号封筒(出願書類送付用)に入れて、「封筒貼付用宛名シート」を貼付の上、簡易書留速達郵便により提出してください。

- \* 1頁の「II(3) 出願方法」及び3頁の「(6) インターネット出願登録後に提出が必要な書類」の記載を確認し、出願書類の提出を行ってください。
- \* 入学検定料の支払い後は、登録内容の修正はできません。ただし、「氏名」、「生年月日」、「住所」等を修正する必要がある場合は、「封筒貼付用宛名シート」の「【出願書類の郵送の前に確認してください】」の内容を確認してください。

## (6) インターネット出願登録後に提出が必要な書類

提出書類	摘 要
①入学志願票	入学検定料の支払完了後に届く「インターネット出願支払完了メール」に記載の URL もしくは Post@net にログインし出願内容一覧から本学を選択しメニューの「出願内容を確認」ボタンのいずれかにアクセスして、サイズの拡大・縮小はせずに A 4 サイズで印刷してください。
②調査書等	<p>文部科学省が定めた様式により出身校の校長が作成し、厳封したものを提出してください。</p> <p>なお、高等専門学校第3学年修了者および文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者の調査書については、文部科学省が定めた様式に準じて作成したものを提出してください。</p> <p>また、国際バカロレア資格（国際バカロレア事務局）、アビトゥア資格（ドイツ）、バカロレア資格（フランス）、GCEA レベル資格（イギリス）又は国際 A レベル資格、ヨーロッパ・バカロレア資格のいずれかを有する者、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC、ACSI、NEASC、CIS、Cognia、COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者、日本において、文部科学大臣が指定するインターナショナルスクールの課程を修了した者（当該課程が12年未満の課程の場合、さらに指定された準備教育課程の修了が必要）、外国における12年の課程修了相当の学力試験に合格した者（当該課程が12年未満の課程の場合、さらに指定された準備教育課程での修了が必要）、文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を修了した者、高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定合格者を含む。）については、出願資格を証明する書類および当該試験等の成績証明書を提出してください。</p>

- \* ②について、外国語で書かれた資格証明書・成績証明書には、日本語訳を添付してください。
- \* ②について、高等学校卒業程度認定試験合格者（旧大学入学資格検定合格者を含む。）で、高等学校に在学したことがあり、在学中の成績証明書の提出が可能な者は、成績証明書を提出してください。
- \* やむを得ない事情で調査書等が提出できない場合は、事前に尾道市立大学入学試験実施本部に相談してください。

### 経済情報学部経済情報学科出願者の場合

③資格・検定等加点申請書	加点を申請する場合は、資格・検定等加点申請書と当該資格証明書又は当該資格合格書等（コピー可）を添付して出願書類とともに提出してください。申請は任意のため、未申請の場合は加点されませんが、未申請を理由に減点することはありません。 <u>期限までに提出されない場合や書類が不備の場合は加点申請を認めることはできません。</u>
--------------	---

- \* ③資格・検定等加点申請書については、Word 形式、PDF 形式のファイルを本学ホームページで公開します。

### 芸術文化学部日本文学科出願者の場合

④「高等学校入学以降の主体的な取り組み」申請書	<p>加点を申請する場合は、「「高等学校入学以降の主体的な取り組み」申請書」および「活動実績を裏付ける参考資料」を出願書類とともに提出してください。</p> <p>申請は志願者の任意です。申請がない場合は、大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テストの国語、調査書の合計 710 点で合否判定をおこないます。<u>期限までに提出されない場合や書類が不備の場合は加点申請を認めることはできません。</u></p>
-------------------------	--

- \* ④「高等学校入学以降の主体的な取り組み」申請書については、Word 形式、PDF 形式のファイルを本学ホームページで公開します。

### 芸術文化学部美術学科出願者の場合

⑤学修計画書	<p>出願書類とともに必ず提出してください。<u>提出がない場合は出願を受理することはできません。</u></p> <p>学修計画書は、所定の書式に 600 字程度の文章で、これまでに取り組んできたことを踏まえ、自分の目標を達成するために入学後何をどのように学びたいかを記述してください。</p>
--------	--

- \* ⑤学修計画書については、Word 形式、PDF 形式のファイルを本学ホームページで公開します。

## (7) 受験票のダウンロード・印刷

出願手続完了後、登録されたメールアドレスに送信される「【尾道市立大学】デジタル受験票配信のお知らせ」メール記載の URL、もしくは Post@net にログインし出願内容一覧から本学を選択しメニューの「出願内容を確認」ボタンのいずれかにアクセスして受験票をダウンロード及び印刷の上、試験当日に忘れずに持参してください。

## (8) インターネット出願に関する注意事項

- ① 国公立大学（独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）の学校推薦型選抜合格者または総合型選抜合格者で入学手続を行った者、および、当該大学の許可を得ずに入学を辞退した者は、教科・科目に係る個別テスト等を受験しても合格者にはなりません。  
注）独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ホームページ (<https://www.kodaikyo.org/?cat=26>) で確認してください。
- ② 本学「前期日程」の学部・学科を志望する場合は、他の国公立大学「前期日程」の学部・学科を併願することはできません。
- ③ 本学「後期日程」の学部・学科を志望する場合は、他の国公立大学「後期日程」の学部・学科を併願することはできません。
- ④ 学内併願については、「前期日程」と「後期日程」の組み合わせによる学部・学科の併願は認めます。ただし、出願書類は別々の封筒に入れて提出してください。
- ⑤ 国公立大学・学部の「前期日程」試験に合格し入学手続を行った者は、「後期日程」試験又は「公立大学中期日程」試験に出願し、これを受験しても合格者にはなりません。
- ⑥ 国公立大学の分離分割方式による合格および追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名および大学入学共通テストの受験番号に限って、合否および入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センターおよび併願先の国公立大学に送達されます。
- ⑦ 大学入学共通テストの成績のうち、本学では、令和8年度大学入学共通テストの成績のみを利用しますので注意してください。
- ⑧ 出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。
- ⑨ いったん出願手続が完了した者の出願書類および入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑩ 入学出願書類や入学手続に関して本学が知り得た個人情報および入学試験の成績や結果に関する個人情報は、「尾道市立大学における個人情報の取扱い及び管理に関する規程」に基づき適正な管理を行います。これらの個人情報は、入学者選抜業務のほか教育的な目的や学生生活に関連して利用する場合があります。

### <経済情報学部 経済情報学科 「後期日程」志願者の場合>

- ⑪ 教科・科目に係る個別テストで、Aコース（数学）・Bコース（英語）のどちらを選択するかを、出願登録時に選択してください。なお、出願後の変更はできません。

### <芸術文化学部 美術学科 志願者の場合>

- ⑫ 実技検査で出題区分A・B・Cのいずれを選択するかを、出願登録時に選択してください。なお、出願後の変更はできません。

## (9) 障害等のある入学志願者との事前相談

病気・負傷や障害等により受験上の配慮を希望する場合は、尾道市立大学入学試験実施本部へ相談してください。

事前相談の期限 2026年1月5日（月）

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。本学ホームページ (<https://www.onomichi-u.ac.jp/guidance/syougaisyasien.html>) に詳細を掲載しています。

## (10) 受験時の宿泊

受験時の宿泊については、各自で手配してください。

### Ⅲ. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、令和8年度大学入学共通テストと本学が行う教科・科目に係る個別テスト（美術学科においては実技検査）および調査書等の内容を総合して行います。

#### 【経済情報学部 経済情報学科】

日程	募集人員	大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目名			教科・科目に係る個別テスト		配点合計		
		教科・科目名	配点	教科・科目名等	配点				
前期	100	国語	『国語』	を1	200	数学	『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ』、 『数学A』、 『数学B』、 『数学C』 (注1)	150	
		地理 歴史 ・ 公民	(『地理総合／歴史総合／公共』 から2)、 『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』	から1	*100				
		理科	(『物理基礎／化学基礎／ 生物基礎／地学基礎』から2)、 『物理』、『化学』、『生物』、 『地学』			から1	100	外国語	『英語コミュニケーションⅠ』、 『英語コミュニケーションⅡ』
		情報	『情報Ⅰ』	から1	100				
		数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』			を1	100	取得資格・検定等(注3)	25
		外国語	『英語』、『ドイツ語』、 『フランス語』、『中国語』、 『韓国語』	から1	200	計	375		
		[4教科5科目]			計			700	
後期	A コース	15	国語	『国語』	を1	100	数学	『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ』、 『数学A』、 『数学B』、 『数学C』 (注1)	100
			地理 歴史 ・ 公民	(『地理総合／歴史総合／公共』 から2)、 『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』	から1	*100			
			理科	(『物理基礎／化学基礎／ 生物基礎／地学基礎』から2)、 『物理』、『化学』、『生物』、 『地学』			から1	100	調査書(注2)
			情報	『情報Ⅰ』	から1	100			
			数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』			から1	100	計
			外国語	『英語』、『ドイツ語』、 『フランス語』、『中国語』、 『韓国語』	から1	100			
[4教科4科目]			計	400					

B コース	15	国語	『国語』	を1	100	外国語	『英語コミュニケーションⅠ』、 『英語コミュニケーションⅡ』	100	550		
		地理歴史・公民	(『地理総合／歴史総合／公共』から2)、 『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』	から1	*100						
		理科	(『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』から2)、 『物理』、『化学』、『生物』、 『地学』								
		情報	『情報Ⅰ』							調査書(注2)	25
		数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』	から1	100					取得資格・検定等(注3)	25
		外国語	『英語』、『ドイツ語』、 『フランス語』、『中国語』、 『韓国語』	から1	100						
[4教科4科目]				計	400	計	150				

(注1) 教科・科目に係る個別テストの教科・科目名等の教科・科目名「数学」について、『数学Ⅰ』: 全範囲、『数学Ⅱ』: 全範囲、『数学A』: 「図形の性質」「場合の数と確率」のみ、『数学B』: 「数列」「統計的な推測」のみ、『数学C』: 「ベクトル」のみとします。

(注2) 調査書の「各教科の学習成績の状況」に記載された「数学」または「英語」における学習成績の状況のうち、数値が高いものを点数化します。

(注3) 本学部が指定する資格・検定等において、取得した資格の分野の種類(英語、簿記、情報、数学)1つにつき、5点を加点します。また、「高難度資格」のいずれかを取得している場合は、さらに5点を加点します。(18頁 別添1)

(備考)

- ① 配点に\*印を付してある教科は、選択教科を表します。
- ② 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングとリスニングの合計得点を換算します。「リーディング」と「リスニング」の配点割合を4:1とし、前期日程では200点満点、後期日程では100点満点とします。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点のみを換算します。
- ③ 大学入学共通テスト「地理歴史・公民」、「理科」、「情報」において2科目以上を受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に利用します。
- ④ 後期日程で大学入学共通テスト「数学」を2科目受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に利用します。

【芸術文化学部 日本文学科】

日程	募集人員	大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目名			教科・科目に係る個別テスト		配点合計				
		教科・科目名	配点	教科・科目名等	配点						
前期	30	国語	『国語』	を1	200	国語 『現代の国語』、 『言語文化』、 『論理国語』、 『文学国語』、 『古典探究』	720				
		地理歴史・公民	(『地理総合／歴史総合／公共』から2)、 『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』	から1	*100			調査書(注1)	10		
		理科	(『物理基礎／化学基礎／生物基礎／ 地学基礎』から2)、 『物理』、 『化学』、 『生物』、 『地学』								
		数学	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』								
		情報	『情報Ⅰ』								
		外国語	『英語』、 『ドイツ語』、 『フランス語』、 『中国語』、 『韓国語』	から1	200					高等学校入学以降の 主体的な取り組み (注2)	10
		[3教科3科目] 計			500						
後期	5	国語	『国語』	を1	200	国語 『現代の国語』、 『言語文化』、 『論理国語』、 『文学国語』、 『古典探究』	720				
		地理歴史・公民	(『地理総合／歴史総合／公共』から2)、 『地理総合、地理探究』、 『歴史総合、日本史探究』、 『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、 『公共、政治・経済』	から1	*100			調査書(注1)	10		
		理科	(『物理基礎／化学基礎／生物基礎／ 地学基礎』から2)、 『物理』、 『化学』、 『生物』、 『地学』								
		数学	『数学Ⅰ、数学A』、 『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ、数学B、数学C』								
		情報	『情報Ⅰ』								
		外国語	『英語』、 『ドイツ語』、 『フランス語』、 『中国語』、 『韓国語』	から1	200					高等学校入学以降の 主体的な取り組み (注2)	10
		[3教科3科目] 計			500						

(注1) 調査書の「各教科の学習成績の状況」に記載された「国語」における学習成績の状況について点数化します。

(注2) 申請書(任意提出)への加点(最大10点)です。申請は志願者の任意です。申請がない場合は、大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テストの国語、調査書の合計710点で合否判定をおこないます。(20頁 別添2)

(備考)

- ① 配点に\*印を付してある教科は、選択教科を表します。
- ② 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングとリスニングの合計得点を換算します。「リーディング」と「リスニング」の配点割合を4:1とし、合計200点満点とします。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点のみを換算します。
- ③ 大学入学共通テスト「地理歴史・公民」、「理科」、「数学」、「情報」において2科目以上を受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に利用します。

【芸術文化学部 美術学科】

日程	募集人員	大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目名			教科・科目に係る個別テスト		配点合計	
		教科・科目名		配点	教科・科目名等	配点		
前期	23	国語	『国語』	を1	200	実技(注1) その他 第1日 デッサン 第2日 彩色表現 学修計画書(注2) 調査書(注3)	900	1570
		地理歴史	(『地理総合/歴史総合/公共』から2)、 『地理総合, 地理探究』、 『歴史総合, 日本史探究』、 『歴史総合, 世界史探究』	から2	*200 計400			
		公民	(『地理総合/歴史総合/公共』から2)、 (備考④参照) 『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』					
		理科	(『物理基礎/化学基礎/生物基礎/ 地学基礎』から2)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』					
		数学	『数学Ⅰ, 数学A』、『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』					
		情報	『情報Ⅰ』					
		外国語	『英語』、『ドイツ語』、 『フランス語』、『中国語』、 『韓国語』					
		[3教科3科目]						
後期	15	国語	『国語』	を1	100	実技(注1) その他 第1日 デッサン 第2日 彩色表現 学修計画書(注2) 調査書(注3)	900	1270
		地理歴史	(『地理総合/歴史総合/公共』から2)、 『地理総合, 地理探究』、 『歴史総合, 日本史探究』、 『歴史総合, 世界史探究』	から2	*100 計200			
		公民	(『地理総合/歴史総合/公共』から2)、 (備考④参照) 『公共, 倫理』、『公共, 政治・経済』					
		理科	(『物理基礎/化学基礎/生物基礎/ 地学基礎』から2)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』					
		数学	『数学Ⅰ, 数学A』、『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』					
		情報	『情報Ⅰ』					
		外国語	『英語』、『ドイツ語』、 『フランス語』、『中国語』、 『韓国語』					
		[3教科3科目]						

(注1) 実技検査の詳細については「IV. 教科・科目に係る個別テスト等の日時および内容(10頁～)」の美術学科の項目を参照してください。

(注2) 学修計画書は、所定の書式に600字程度の文章で、これまでに取り組んできたことを踏まえ、自分の目標を達成するために入学後何をどのように学びたいかを記述してください。

(注3) 調査書の「指導上参考となる諸事項」に記載された事項から、「主体性を持って学ぶ態度」「多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価します。なお、学校の内外で意欲的に取り組んだ活動等を「備考欄」に具体的に記載してください。

(備考)

- ① 配点に\*印を付してある教科は、選択教科を表します。
- ② 大学入学共通テスト「外国語」の「英語」については、リーディングとリスニングの合計得点を換算します。「リーディング」と「リスニング」の配点割合を4:1とし、前期日程では合計200点満点、後期日程では合計100点満点とします。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点のみを換算します。
- ③ 大学入学共通テスト「地理歴史」、「公民」、「理科」、「数学」、「情報」、「外国語」において3教科・3科目以上を受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に利用します。

- ④ 美術学科で（大学入学共通テスト『地理総合／歴史総合／公共』から2）を受験し、教科「地理歴史」で他科目を受験している場合は教科「公民」の科目として合否判定に利用します。

#### IV. 教科・科目に係る個別テスト等の日時および内容

##### 前期日程

#### 【経済情報学部 経済情報学科】

教科・科目に係る個別テスト 2026年2月25日(水) [9:00までに入室]

時 間	教科・科目名等
9:20 - 10:40	外国語 [ 『英語コミュニケーションⅠ』、 『英語コミュニケーションⅡ』 ]
11:30 - 12:50	数 学 [ 『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ』、『数学A』、 『数学B』、『数学C』 ]

#### 【芸術文化学部 日本文学科】

教科・科目に係る個別テスト 2026年2月25日(水) [9:00までに入室]

時 間	教科・科目名等
9:20 - 10:50	国 語 [ 『現代の国語』、『言語文化』、 『論理国語』、『文学国語』、『古典探究』 ]

#### 【芸術文化学部 美術学科】

実技検査第1日 2026年2月25日(水) [8:30までに集合]

実技検査第2日 2026年2月26日(木) [8:30までに集合]

◎ 出願時に出題区分A・B・Cのいずれかを選択してください。

出題 区分	第1日目 [デッサン] (9:00~12:00・ 13:00~16:00)	第2日目 [彩色表現] (9:00~12:00・ 13:00~16:00)
A	鉛筆デッサン (木炭紙大画用紙) 【持参用具】 鉛筆デッサン用具一式、フィクサチーフ (定着液)	着彩写生 (木炭紙大画用紙) 【持参用具】 水彩絵具、水彩描画用具一式
B	デッサン (MBM木炭紙) 【持参用具】 鉛筆または木炭デッサン用具一式 (鉛筆と木炭との併用も可)、フィクサチーフ (定着液)	油彩画 (F15号キャンバス) 【持参用具】 油絵具、油彩描画用具一式 (油絵具と水性絵具の併用も可)
C	鉛筆デッサン (B3画用ボード) 【持参用具】 鉛筆デッサン用具一式、フィクサチーフ (定着液)	平面構成 (B3ケントボード) 【持参用具】 水性描画用具一式 定規、コンパス、製図用具一式

#### 《実技検査 評価の内容》

空間の中の物の形が、線・面・量、明暗または彩色によつて的確に描出されているか、かつ感性豊かに空間構成されているかという観点に基づき、潜在的可能性を含めて評価します。

## 後期日程

### 【経済情報学部 経済情報学科】

教科・科目に係る個別テスト 2026年3月12日(木) [9:00までに入室]

◎ 出願時にAコース(数学)・Bコース(英語)のいずれかを選択してください。

コース	時間	教科・科目名等
A	9:20 - 10:40	数学 [ 『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ』、 『数学A』、 『数学B』、 『数学C』 ]
B	9:20 - 10:40	外国語 [ 『英語コミュニケーションⅠ』、 『英語コミュニケーションⅡ』 ]

### 【芸術文化学部 日本文学科】

教科・科目に係る個別テスト 2026年3月12日(木) [9:00までに入室]

時間	教科・科目名等
9:20 - 10:50	国語 [ 『現代の国語』、 『言語文化』、 『論理国語』、 『文学国語』、 『古典探究』 ]

### 【芸術文化学部 美術学科】

実技検査第1日 2026年3月12日(木) [8:30までに集合]

実技検査第2日 2026年3月13日(金) [8:30までに集合]

◎ 出願時に出題区分A・B・Cのいずれかを選択してください。

出題区分	第1日目 [デッサン] (9:00~12:00・ 13:00~16:00)	第2日目 [彩色表現] (9:00~12:00・ 13:00~16:00)
A	鉛筆デッサン(木炭紙大画用紙) 【持参用具】 鉛筆デッサン用具一式、フィクサチーフ(定着液)	着彩写生(木炭紙大画用紙) 【持参用具】 水彩絵具、水彩描画用具一式
B	デッサン(MBM木炭紙) 【持参用具】 鉛筆または木炭デッサン用具一式(鉛筆と木炭との併用も可)、フィクサチーフ(定着液)	油彩画(F15号キャンバス) 【持参用具】 油絵具、油彩描画用具一式(油絵具と水性絵具の併用も可)
C	鉛筆デッサン(B3画用ボード) 【持参用具】 鉛筆デッサン用具一式、フィクサチーフ(定着液)	平面構成(B3ケントボード) 【持参用具】 水性描画用具一式 定規、コンパス、製図用具一式

### 《実技検査 評価の内容》

空間の中の物の形が、線・面・量、明暗または彩色によつて的確に描出されているか、かつ感性豊かに空間構成されているかという観点に基づき、潜在的可能性を含めて評価します。

## V. 試験会場

尾道市立大学（案内図は17頁にあります）

## VI. 受験上の注意事項

### (1) 経済情報学部 経済情報学科・芸術文化学部 日本文学科

- ① 教科・科目に係る個別テスト（以下、「個別テスト」という。）には、**本学の受験票と大学入学共通テスト受験票**を必ず持参してください。受験票を忘れた場合は、速やかに試験場本部で受験票の再発行の手続きを行ってください。  
なお、入学手続の際に両方の受験票が必要になりますので、試験後も大切に保管してください。
- ② 個別テスト開始20分前までに、指定された試験室に入室し、着席してください。
- ③ 個別テスト開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、時間の延長は行いません。
- ④ 個別テスト中、受験票のほかに机の上に置けるものは、次のとおりです。試験中にこれら以外の所持品を使用または机の上に置いている場合は、不正行為の有無を確認するために解答の一時中断を指示します。
  - ・ 筆記用具（黒の鉛筆またはシャープペンシル）
  - ・ プラスチック製の消しゴム
  - ・ 鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）
  - ・ 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可。）
  - ・ 眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）
- ⑤ 個別テスト時間中、次のものを使用してはいけません。これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となります。
  - ・ 定規（定規の機能を備えた鉛筆を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
  - ・ 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、イヤホン、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器
- ⑥ 試験時間中、病気・負傷や障害等により机の上に置けるもの以外のものを使用したい場合は、受験上の配慮申請が必要です。詳しくは4頁（9）をご参照ください。

### (2) 芸術文化学部 美術学科

- ① 実技検査には、**本学の受験票と大学入学共通テスト受験票**を必ず持参してください。受験票を忘れた場合は、速やかに試験場本部で受験票の再発行の手続きを行ってください。  
なお、入学手続の際に両方の受験票が必要になりますので、試験後も大切に保管してください。
- ② 8:30までに指定された集合場所に集まってください。集合時刻に間に合わなかった場合は、試験会場にいる係員の指示に従ってください。
- ③ 実技検査開始後は、12:00までの遅刻に限り、受験を認めます。ただし、試験時間の延長は行いません。
- ④ 実技検査中（9:00～16:00、昼食時を含む）は携帯電話の使用を禁止します。
- ⑤ 休憩時間中に試験会場の外に出ることはできませんので、**必ず昼食を持参してください。**
- ⑥ 実技検査の作品は返還しません。

### (3) 全般的な受験上の注意事項

- ① 試験前日は試験会場の所在地の確認はできますが、試験会場内への立ち入りはできません。
- ② 試験会場およびその付近に食堂等はありません。
- ③ 試験会場およびその付近に駐車場はありません。
- ④ 試験会場周辺等で各種幹旋を行う者があっても、本学とは一切関係ありません。
- ⑤ 試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、上着など暖かい服装を持参してください。

#### (4) 試験実施上の配慮について

自然災害や人為災害等により、本学会場に来ることができない事情が発生した場合は、速やかに電話で連絡してください。

### Ⅶ. 不正行為

(1) 次の行為をすると不正行為となり、受験者は入学試験において失格となります。状況によっては大学から警察に被害届を提出します。

- ① 志願票や受験票、解答用紙に故意に虚偽の情報を登録・記入すること。
- ② カンニング（試験の教科・科目に関するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
- ④ 配付された問題用紙を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑥ 「解答はじめ」の指示の前に、問題用紙を開いたり、解答を始めること。
- ⑦ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、イヤホン、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ⑧ 「解答やめ。筆記用具を置いてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴム等の筆記用具を持っていたり、解答を続けること。

(2) 前項(1)以外にも、次のことをすると不正行為とみなすことがあります。指示等に従わず、不正行為と認定した場合の取り扱いは、(1)と同様です。

- ① 携帯電話等の電子機器類や許可された筆記用具以外のものをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験場において監督者の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

### Ⅷ. 合格発表

#### (1) 発表日時

前期日程 2026年3月5日(木) 10:00

後期日程 2026年3月20日(金) 10:00

#### (2) 発表方法

- ① 尾道市立大学の掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。本学ホームページ (<https://www.onomichi-u.ac.jp/>) による合格発表も行いますが、あくまでも補助的な手段です。大学が郵送する合格通知書で必ず確認してください。
- ② 電話による合否の問い合わせには、一切応じません。

### Ⅸ. 入学手続

#### (1) 入学手続期間

前期日程 2026年3月6日(金)～3月15日(日) 17:00まで(必着)

後期日程 2026年3月23日(月)～3月27日(金) 17:00まで(必着)

## (2) 入学手続方法

- ① 合格通知書とともに送付する「入学手続要領」の説明を参照してください。
- ② 手続期間内に入学手続書類の提出と入学料の納入が行われることで、入学手続の完了とします。
- ③ 入学料は合格通知書とともに送付する納付書に必要事項を記入し、手続期間内に最寄りの金融機関の窓口で振り込んでください。
- ④ 書類の提出は、郵送または直接持参によって行ってください。なお、直接持参の場合の受付時間は、平日の9:00から17:00までとします。

### ⑤ 入学手続先

〒 7 2 2 - 8 5 0 6 広島県尾道市久山田町1600番地2  
尾道市立大学 入学試験実施本部  
TEL (0848) 22-8311 (代表)  
(0848) 22-8381 (直通)

- ⑥ 入学手続を完了した者には、入学手続期間終了後に、入学許可書を送付します。

## (3) 入学手続時納付金

区 分	入 学 料	対 象
市 内	282,000円	次のいずれかが尾道市内に、入学月の初日の1年以上前から引き続き住民登録をしている者 ・本人 ・本人の配偶者または1親等の親族
市 外	423,000円	上記以外の者

\* 上記は前年度の金額です。

\* 振込手数料はご負担ください。

## (4) 提出書類

- ① 宣誓書・誓約書
- ② 令和8年度大学入学共通テスト受験票
- ③ 国公立大学入学確認票（大学入学共通テスト出願サイトのマイページから取得したもの）
- ④ 卒業証明書または修了証明書  
入学手続時に卒業見込みまたは修了見込みの者は、2026年3月27日（金）までに提出してください。
- ⑤ 住民票の写し（交付された原本）  
入学手続時納付金の区分において、「市内」に該当する者のみ提出してください。

## (5) 入学手続上の注意事項

- ① 必要な手続を期間内に行わない場合には、本学への入学を辞退したものととして取扱います。
- ② いったん受理した入学手続書類および振り込まれた納付金は、いかなる理由があっても返還しません。
- ③ 入学手続を完了した後入学を辞退する者は、別途電話連絡の上、入学辞退届を尾道市立大学入学試験実施本部へ提出してください。ただし、この場合、他の国公立大学・学部に入學手続をすることはできませんので、注意してください。

## X. 諸経費その他

### (1) 入学後に必要となる経費

項目	金額	備考
① 授業料	535,800円 [年額]	4月、10月に分けて納入
② 学生教育研究 災害傷害保険料	4,660円 [4年分]	4月に納入
③ 後援会入会金	10,000円	4月に納入
④ 後援会費	50,000円 [年額]	
⑤ 学友会入会金	1,000円	
⑥ 学友会費	7,000円 [年額]	

\* 上記は前年度の金額です。

\* 美術学科はこの他に、初年度実習費として7万円、3年次に古美術研究旅行費として20～40万円程度が必要になります。

\* 経済情報学科、日本文学科では、ノート型パソコンが必携となります。詳細は入学前にお知らせしますが、場合によっては新たに購入する必要があります。(前年度大学斡旋ノート型パソコンは14万円程度)

\* 入学までにスマートフォン（OSアップデート可能なもの）を準備してください。

\* 振込手数料はご負担ください。

### (2) 奨学金

独立行政法人日本学生支援機構奨学金（無利子貸与、有利子貸与）の他に、地方公共団体等の奨学金制度があります。詳しくは、入学後の説明会等で案内します。

### (3) 下宿等

本学が運営している学生寮はありません。民間経営の寮・アパート等の資料を11月下旬より本学に準備しています。

## XI. 減免手続

大学等における修学の支援に関する法律等に基づく減免手続については、入学後申請手続を行ってください。決定後、減免区分に応じ、減免額を還付します。

## XII. 追加合格

入学手続完了者が入学定員に満たないときは、2026年3月27日（金）以降に追加合格を行います。追加合格については、2026年3月27日（金）から3月31日（火）の間に、追加合格該当者に本学から電話で連絡しますので、この期間中は出願登録時に入力した「現住所」または「緊急連絡先」に連絡できるようにしておいてください。追加合格の入学手続は、13頁の「IX. 入学手続」に準じて行いますが、詳細は、合格通知の際に連絡します。

### XIII. 個人に関する入試情報の開示

2026年度 一般選抜（前期日程、後期日程）を受験した者のうち、不合格となった者に限り、個人に関する入試情報を開示します。

開示内容	一般選抜の試験成績 ・得点（大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テストの総合得点） ・順位（経済情報学部後期日程についてはコースごとの順位）
------	--

**(1) 申請手続**

申請期間 2026年5月1日（金）～5月29日（金）17：00まで（必着）

**(2) 申請書類等**

- ① 入試情報開示申請書（直接請求または本学ホームページから入手できます）
- ② 本学の受験票（原本）および大学入学共通テストの受験票
- ③ 返信用封筒（本人の住所、氏名を明記し、定形25g＋簡易書留分の切手を貼った長形3号）

**(3) 申請方法**

申請は、郵送または直接持参により提出してください。直接持参の場合の受付時間は、平日の9：00から17：00までとします。

**(4) 申請書提出先**

〒722-8506 広島県尾道市久山田町1600番地2  
尾道市立大学 入学試験実施本部  
電話（0848）22-8311（代表）  
（0848）22-8381（直通）

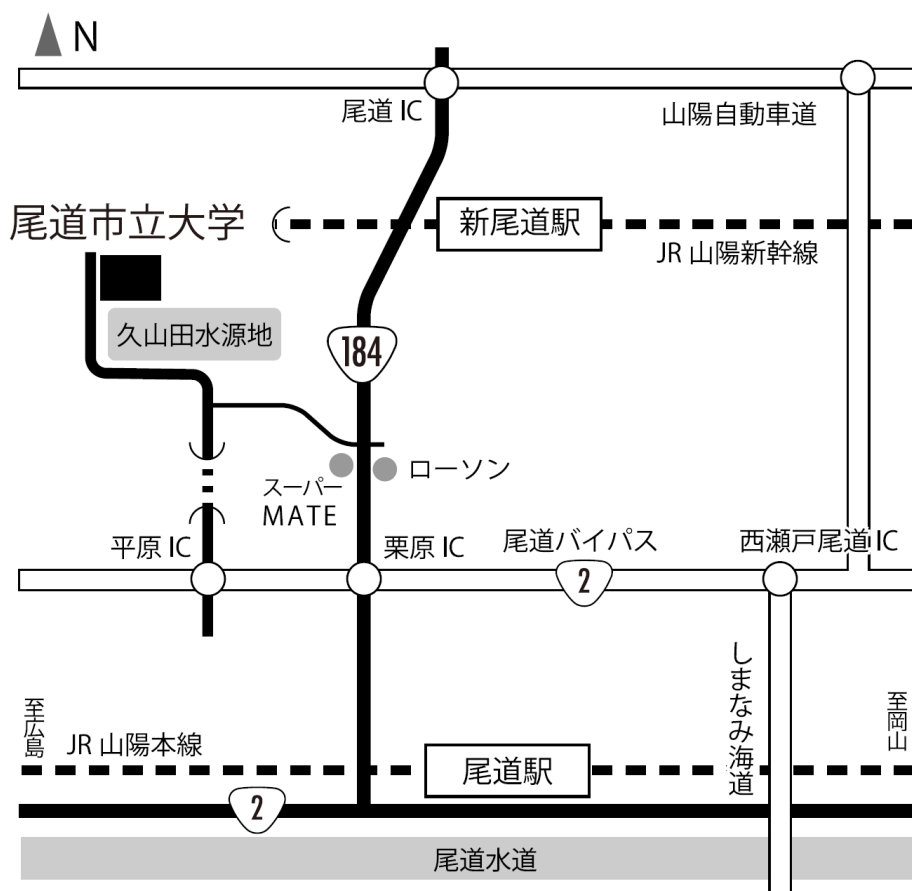
**(5) 開示方法**

入試情報開示申請書を受理した日から30日以内に、開示申請者に対し成績通知書を送付します。

## XIV. 尾道市立大学へのアクセス

### 注意事項

- ① 試験前日は試験会場の所在地の確認はできますが、試験会場内への立ち入りはできません。
- ② 試験会場周辺等で各種幹旋を行う者があっても、本学とは一切関係ありません。



### 尾道市立大学への交通

J R 山陽本線 尾道駅より

駅前バスターミナル (③番のりば) より「尾道市立大学」または「陽光台」行きバスで約 20～40 分、「尾道市立大学」下車。

J R 山陽新幹線 新尾道駅より

南口 (③番のりば) より「尾道市立大学」または「陽光台」行きバスで約 15 分、「尾道市立大学」下車。

タクシー利用で約 10 分。

自家用車で送迎の場合、尾道バイパス・平原 I C 経由が便利です。

試験当日には、両駅からバスの臨時便 (直行便) を運行します。

運行予定時刻表等の詳細は 2026 年 2 月中旬ごろに 本学ホームページ (<https://www.onomichi-u.ac.jp/>) へ掲載します。

## 別添1 経済情報学部経済情報学科の取得資格・検定等への加点に関して

次に掲げる資格を取得している者に対し、その証明書を出願書類とともに提出することを条件として加点します。

加点方法は「取得した資格の分野の種類（英語、簿記、情報、数学）1つにつき、5点を加点（最大で4分野取得により20点加点）」します。また、「高難度資格」のいずれかを取得している場合は、さらに5点を加点します。高難度資格を複数分野で取得していても、「高難度資格」による加点は5点のみです。

### 【加点の対象となる資格】

#### ＜英語＞

- ・CEFR（Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment：外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠）対照表（資料1）において「B1」以上

#### ＜簿記＞

- ・日商簿記検定試験 3級以上
- ・全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定 1級（全科目合格）
- ・全国経理教育協会 簿記能力検定試験 1級以上（全科目合格）

#### ＜情報＞

- ・ITパスポート、基本情報技術者及びその上位資格
- ・全国商業高等学校協会主催 情報処理検定試験 1級（ビジネス情報部門、プログラミング部門のどちらか一方で可）

#### ＜数学＞

- ・日本数学検定協会主催 実用数学技能検定 2級以上

### 【高難度資格】

＜英語＞ CEFR 「B2」以上

＜簿記＞ 日商簿記検定試験 2級以上

＜情報＞ 基本情報技術者及びその上位資格

＜数学＞ 実用数学技能検定 準1級以上

## －資料1－

英語資格・検定試験とCEFRとの対照表

CEFR	ケンブリッジ英語検定	実用英語技能検定(英検)	GTEC	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT®テスト	TOEIC L&R + TOEIC S&W
C2	200 - 230			8.5 - 9.0			114-120	
C1	180 - 199	1級合格	1350 -1400	7.0 - 8.0	375 - 400	800	95 -113	1845 -1990
B2	160 - 179	準1級合格	1180 -1349	5.5 - 6.5	309 - 374	600 - 795	72 - 94	1560 -1840
B1	140 - 159	2級合格	930 -1179	4.0 - 5.0	225 - 308	420 - 595	42 - 71	1150 -1555
A2	120 - 139	準2級プラス合格 準2級合格	680 - 929		135 - 224	235 - 415		625 -1145
A1	100 - 119	3級合格	260 - 679					320 - 620

- ・この対照表は、「各資格・検定試験とCEFRとの対照表（文部科学省平成30年3月作成）」を参考に作成。
- ・表中の数値は各資格・検定試験の定める試験結果のスコアを指す。スコアの記載がない欄は、各資格・検定試験において当該欄に対応する能力を有していると認定できないことを意味する。
- ・ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定(英検)及びGTECは複数の試験から構成されており、それぞれの試験がCEFRとの対照関係として測定できる能力の範囲が定められている。当該範囲を下回った場合には

CEFR の判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられている CEFR の判定が行われる。なお、GTEC は検定版、CBT タイプのいずれも可とする。

- 実用英語技能検定(英検)は級の合格のみで判断し、英検 CSE スコアは用いない。
- TOEIC® Listening & Reading Test 及び TOEIC® Speaking & Writing Tests の両方の認定証が必要。TOEIC® Speaking & Writing Tests のスコアを 2.5 倍にして合算する。IP テスト(団体受験)の成績は活用しない。

## 別添2 芸術文化学部日本文学科の「高等学校入学以降の主体的な取り組み」への加点に関して

日本文学科一般選抜（前期日程・後期日程）に「高等学校入学以降の主体的な取り組み」に対する加点（最大10点）をします。申請は志願者の任意です。申請がない場合は、大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テストの国語、調査書の合計710点で合否判定をおこないます。取り組みの内容は、探究型学習での研究活動や社会活動等です。「総合的な探究の時間」における学びの履歴や成果等も含まれます。アドミッション・ポリシーの観点から定性的かつ総合的に評価します。

### 【申請方法】

- ・出願書類を提出する際に、出願願書、調査書等とともに、「高等学校入学以降の主体的な取り組み」申請書および「活動実績を裏付ける参考資料」を併せて提出してください。
- ・「高等学校入学以降の主体的な取り組み」申請書は、本学ホームページからダウンロードしてください。なお、「高等学校入学以降の主体的な取り組み」申請書は志願者本人が作成してください。

### 【申請にかかる留意点】

- ・申請できる活動実績の年限は、高等学校入学後のものとします。
- ・申請できる活動実績は、学部・学科の定めるアドミッション・ポリシーとの関連性があるものとします。アドミッション・ポリシーと関連性のない実績については、加点の対象外となります。提出は1件までです。
- ・「活動実績を裏付ける参考資料」とは、コンクール入選や資格取得等を証明する資料、新聞や雑誌等に掲載された記事、取り組みや活動実績を証明する資料及び参考資料をさします。これらの複写（コピー）を申請書とは別にして、ステープル（ホッチキス）で留めて提出してください。なお具体的な活動内容や、グループでの取り組みならそこに対してどのような役割を果たし、どう関わったかがわかる資料を添えてください。
- ・申請書で以下の5項目を具体的に記述してください。
  - ① 取り組み、活動実績の名称  
申請する取り組みの活動・実績について記入して下さい。例) 高等学校での「総合的な探究の時間」のなかで日本文学科のアドミッション・ポリシーと関わるもの、文学賞等受賞実績、海外語学研修への参加、ピブリオバトル等への参加、〇〇に関する自主的な取り組み等。
  - ② 取り組み、活動実績の主催母体、または資格認定、賞授与等の主体となる機関等の名称  
例) 〇〇連盟、〇〇協会、〇〇会社、NPO 法人〇〇〇〇、〇〇自治体、〇〇高等学校等。
  - ③ 取り組みの活動期間、実績等の取得年月  
該当する活動期間または実績取得年月を記入してください。
  - ④ 活動実績の概要（400字程度）  
申請する取り組み、活動実績等の概要について、具体的に記入してください（規模、参加資格、入賞条件、課題研究の成果等客観的に評価できる情報等があれば可能な限り記入してください）。グループ等で実施した場合は、申請者がグループの中でどのような役割を果たしたのか、具体的に記述してください。
  - ⑤ 取り組み、実績と、日本文学科のアドミッション・ポリシーや入学後の学びとの関連性（400字程度）  
申請する取り組み内容を通して身に付けたものや経験等が、日本文学科での学びにどのように活かせるかについて記述してください。

## 入学者の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

### 全学

#### 教育の理念・目的と求める学生像

尾道市立大学の教育は、専門の学芸と幅広い教養を身につけ、知的能力および豊かな人間性を発揮できる人材を育成すること、また、地域社会との連携・交流を重視し、広く地域に開かれた大学として芸術文化の向上と産業の活性化に貢献できる人材を養成することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けることのできる者として、次のような人の入学を受け入れます。

（知識・技能）（思考力・判断力・表現力）

- ・ 学問や芸術を学ぶことを通じて、豊かな心と幅広い視野を持ちたいと願う人
- ・ 知と美に対する探究心と創造意欲のある人
- ・ 専門的知識・技能を身につけ、地域社会や国際社会に貢献したい人

（主体性・多様性・協働性）

- ・ 何事にも好奇心をもって積極的に挑戦し、自己の目標に向かって不断の努力をする人
- ・ 主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ人

各学部・学科では、これらに関連する入学前の能力や適性について、それぞれのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーをふまえ、多面的・総合的に評価し、入学者の選抜を行います。

全学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）  
教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

詳細は[こちら](#)からご覧ください。



## 経済情報学科の入学者の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

### 教育の理念・目的と求める学生像

経済情報学科は、経済、経営、そして情報の3分野を併せて学ぶことを特長としています。基礎的理論と実践的・応用的知識を兼ね備え、主体性をもって自ら問題を設定し解決することで、現代社会のニーズに応えられる人材、社会貢献や地域貢献ができる人材の育成を目指しています。

このような教育理念・目的に基づき、経済情報学科は次のような人を求めています。

- ・日常生活の経済現象に関する基礎的な考え方や理論を理解し、各種資料や経済統計を活用して実際の経済を分析し、経済問題を世界的観点から考えて責任ある選択・意思決定ができるようになりたい人
- ・経済社会を支える企業活動の現実を直視し、企業経営に関する理論や分析手法を幅広く学んだうえで、その成果を組織の仕組みの改善に活かしたい人
- ・現代社会の基盤となっている情報システムやネットワークの基本原理を学び、社会問題の解決や日常生活の利便性の向上に意欲のある人

### 入学後の学びに必要な能力や適性等

経済情報学科の教育課程に適応するために必要な入学時の能力や適性等は、以下の通りです。

（知識・技能）

- ①人間・社会・自然に対する深い理解、経済・経営・情報3分野の基礎的な知識の修得につながる「高等学校等で学ぶ幅広い教科・科目の基礎的な知識・技能」

（思考力・判断力・表現力）

- ②問題分析力・解決力・情報収集力やコミュニケーション力につながる

②-a. 「高等学校等で学ぶ幅広い教科・科目の基礎的な知識・技能をふまえた思考力・判断力」

②-b. 「数学的思考力」または「英語の読解力と表現力」

②-c. 「専門分野（経済・経営・情報）に関する文章の読解力と自らの考えを論理的にまとめる表現力」

（主体性・多様性・協働性）

- ③実社会における実践や問題解決力につながる「責任ある選択・意思決定、組織の仕組みの改善、社会問題の解決や日常生活の利便性の向上に向けて行動しようとする意欲」

### 【経済情報学科】

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

詳細は[こちら](#)からご覧ください。



入学後の学びに必要な能力や適性等と入学者選抜における評価との対応

学力の3要素		知識・技能	思考力・判断力・表現力			主体性・多様性・協働性		
入学後の学びに必要な能力や適性等		①	②-a	②-b	②-c	③		
入試区分、 検査等の内容 (配点)	学校推薦型選抜	一般推薦	調査書「全体の学習成績の状況」(出願要件)	○	○			
			基礎学力検査(英語)(50点)			○		
			小論文(50点)		○		○	
			面接(40点)		○			○
			調査書「数学」または「英語」の学習成績の状況(5点)		○	○		
		資格取得・検定等(25点)					○	
		特別推薦A、B	調査書「全体の学習成績の状況」(出願要件)	○	○			
			小論文(100点)		○		○	
			面接(40点)		○			○
			調査書「数学」または「英語」の学習成績の状況(5点)		○	○		
	資格取得・検定等(25点)						○	
	一般選抜	前期	共通テスト(700点)	○	○			
			教科・科目に係る個別テスト(数学、英語)(300点)		○	○	○	
			調査書「数学」または「英語」の学習成績の状況(50点)		○	○		
			資格取得・検定等(25点)					○
		後期A、B	共通テスト(400点)	○	○			
			教科・科目に係る個別テスト(数学または英語)(100点)		○	○	○	
			調査書「数学」または「英語」の学習成績の状況(25点)		○	○		
			資格取得・検定等(25点)					○
	留学生選抜 私費外国人	外国において、学校教育における12年の課程を修了またはこれに準ずるもの(出願要件)		○	○			
日本留学試験(日本語、総合科目、数学)(50点)		○						
日本留学試験(日本語(記述))(10点)			○	○				
小論文(50点)			○		○			
面接(50点)			○		○	○		

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

入学までに「基礎学力である高等学校等で学ぶ幅広い教科・科目の知識・技能」を身につけていることが必要です。特に、問題分析力につながる「基礎的な数学力」や、情報収集やコミュニケーションにつながる「英語力」を身につけていることを重視しています。また、経済・経営・情報への関心を持っていることを評価しています。そのため、これらの話題について日頃から調べたり、関連する資格取得・検定に挑戦したりしていることなどが望まれます。

## 日本文学科の入学者の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

### 教育の理念・目的と求める学生像

日本文学科では、豊かな人間性と幅広い視野、高度な言語運用能力をもとに諸共同体のリーダー・教育者・創作者等として主体的に社会に貢献できる人の育成を目指しています。自らの力でテキストの精読や実地調査に基づく分析を行い、他者との議論や対話を通して言語文化の探究と創造に取り組む活動に重点をおいた教育を展開します。

このような教育理念・目的に基づき、日本文学科は次のような人を求めています。

- ・高等学校等までの教育課程において確かな国語の力を身につけた人
- ・問いをもって対象に向き合い、論理的に思考し判断する力を鍛えてきた人
- ・知的探究心をもって日本語・日本文学を深く研究していく意欲がある人
- ・文学作品のもつ多様な価値観を柔軟に受け止められる人
- ・読解力・表現力・対話力を活用して協働的に社会に参画する意欲がある人

### 入学後の学びに必要な能力や適性等

日本文学科の教育課程に適応するために必要な入学時の能力や適性等は以下の通りです。

（知識・技能）

- ①日本語・日本文学・中国文学・欧米文学に関する基本的な知識と研究方法の修得のために、高等学校等までの教育課程において確かな国語の力を身につける必要があります。
- ②周辺領域の考え方や理論と関連付けながら、日本語と日本文学を中心とする学修の拡充と深化を図るために、高等学校等までに学ぶ幅広い教科・科目の知識と技能が必要です。

（思考力・判断力・表現力）

- ③テキストの精読や実地調査を行い、論点を定めた分析や表現の探究に取り組むために、高等学校等までの学習において、論理的・創造的に考える力や他者との関わりの中で伝え合う力、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力が必要です。

（主体性・多様性・協働性）

- ④著名な文学作品を読み、作品のもつ多様な価値観を柔軟に受け止める力が必要です。
- ⑤日本語・日本文学を深く研究していくためにことばや文学、文化への知的探究心が必要です。
- ⑥他者との議論や対話を通して協働的に学ぶ力が必要です。

## 【日本文学科】

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）  
教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

詳細は[こちら](#)からご覧ください。



入学後の学びに必要な能力や適性等と入学者選抜における評価との対応

学力の3要素				知識・技能		思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性		
入学後の学びに必要な能力や適性等				①	②	③	④	⑤	⑥
入試区分、検査等の内容(配点)	学校推薦型選抜	一般推薦	調査書「全体の学習成績の状況」(出願要件)		○	○			
			小論文(50点)			○			
			口頭試問			○	○	○	○
			学修調書(学びの履歴と計画)			○	○	○	○
			調査書「国語」の学習成績の状況(10点)	○		○	○	○	○
				(40点)					
	一般選抜	前期	共通テスト(500点)		○	○			
			教科・科目に係る個別テスト(国語)(200点)	○		○			
			調査書「国語」の学習成績の状況(10点)	○		○	○	○	○
			高等学校入学以降の主体的な取り組み(10点)				○	○	○
		後期	共通テスト(500点)		○	○			
			教科・科目に係る個別テスト(国語)(200点)	○		○			
			調査書「国語」の学習成績の状況(10点)	○		○	○	○	○
			高等学校入学以降の主体的な取り組み(10点)				○	○	○
	留学生選抜 私費外国人	外国において、学校教育における12年の課程を修了またはこれに準ずる者(出願要件)		○	○				
		日本留学試験(日本語)(50点)	○						
小論文(60点)				○					
面接(40点)				○	○	○	○		

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

- ・「国語」において読む、書く、聞く、話す能力を養い、自分の考えを的確に表現できる文章力やコミュニケーション力を身につけてください。
- ・古典の学習を充分に行い、古典に関する基本的な知識や教養を身につけてください。
- ・文学作品、新聞、言葉や文化について書かれた書物を読んで、思考を深めたり広げたりして、多様な価値観を尊重する態度を養ってください。
- ・周辺領域の考え方や理論と関連付けながら、日本語と日本文学を中心とする学修の拡充と深化を図るために、高等学校等での外国語の学習にも意識的に取り組んでください。
- ・その他の教科・科目においても、広い知識を身につけようとする積極性と、常に問題意識を持ち、解決しようとする態度を養ってください。

## 美術学科の入学者の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

### 教育の理念・目的と求める学生像

美術学科の教育理念は、美術における専門家として持続的に創作活動に携わり、地域や社会の文化・芸術に寄与する人材を育成することにあります。

個々の学生の美に寄せる豊かな感性を尊重しながら、実技教育を通して専門的な知識・技術を獲得させること、また、学生が相互に切磋琢磨する機会を通して、芸術文化に関する幅広い視野を身につけさせることを目的とします。その上で、作家やデザイナーとして、あるいは美術教員や学芸員等として、持続的に美術に携わることのできる人材の育成を目指しています。

このような教育理念・目的に基づき、高等学校までの学習を通して培った理解力と思考力、美術の表現力を前提とした上で、美術学科は次のような人を求めています。

- ・豊かな発想や色感を持ち、構成力、描写力などの基礎的な造形力を持つ人
- ・本学で学修を進めるために必要な基本的な知識、理解力を持つ人
- ・自らの問題意識にしたがって考え、客観的な視点を持つ意欲のある人
- ・自らの感覚や思考を、美術表現や言葉によって他者に伝える意欲のある人
- ・主体性を持って学ぶ姿勢を持ち、多様な人々と協働して学ぶ意欲のある人
- ・将来的なビジョンを持ち、自らの創造性を高める意欲のある人

### 入学後の学びに必要な能力や適性等

美術学科の教育課程に適応するために必要な入学時の能力や適性等は以下の通りです。

（知識・技能）

- ①持続的な創作活動に必要な造形の知識・技術を修得するために、高等学校までに基礎的なデッサンや彩色の表現力を身につける必要があります。
- ②造形の知識・技術を活用する上で必要となる様々な考え方を修得するために、高等学校までに学ぶ幅広い教科・科目の知識と技能が必要です。

（思考力・判断力・表現力）

- ③自己表現の方向性を探究するために、高等学校までに自身の表現や適性などについて考え、伝える力を身につける必要があります。

（主体性・多様性・協働性）

- ④明確な目標を持ちながら、自らの創造性を高めるために、主体性を持って学ぶ態度、多様な人々と協働して学ぶ態度が必要です。

### 【美術学科】

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

詳細は[こちら](#)からご覧ください。



入学後の学びに必要な能力や適性等と入学者選抜における評価との対応

学力の3要素			知識・技能		思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性	
入学後の学びに必要な能力や適性等			①	②	③	④	
入試区分、 検査等の内容 (配点)	学校推薦型選抜	一般推薦	調査書「芸術（美術）・国語・地理歴史・外国語（英語）の4教科の内、3教科の「学習成績の状況」、及び美術の優れた能力（出願要件）」		○		
			実技試験（50点）	○		○	
			小論文（20点）			○	○
			面接（25点）			○	○
			調査書「指導上参考となる諸事項」（5点）				○
	一般選抜	前期	共通テスト（600点）		○	○	
			実技検査（900点）	○		○	
			学修計画書（50点）			○	○
			調査書「指導上参考となる諸事項」（20点）				○
		後期	共通テスト（300点）		○	○	
			実技検査（900点）	○		○	
			学修計画書（50点）			○	○
			調査書「指導上参考となる諸事項」（20点）				○
	留学生選抜 私費外国人	外国において、学校教育における12年の課程を修了またはこれに準ずる者（出願要件）」		○	○		
		日本留学試験（日本語、総合科目）（10点）		○	○		
		実技（40点）	○		○		
		小論文（20点）			○	○	
		面接（30点）			○	○	

入学志願者に求める高等学校等での学習の取り組み

- ・基礎的なデッサンや彩色の表現力を培うために、作品の数を積み重ねるだけでなく、質を高めるよう意識してください。
- ・モチーフとなる対象をしっかりと観察し、形を正確に捉えることに加え、質感の表現などにも注意を払ってみてください。
- ・制作を通じて、自身の興味・関心のあるものを探していくことを意識してください。
- ・感性を高めるために、展覧会などを訪れて実物に触れることを意識してください。
- ・作品や自身の表現について他者と対話する機会を設け、多様な価値観に触れてください。
- ・実技に関わるだけでなく、美術以外の科目の学習にも意識的に取り組んでください。

## 尾道市立大学 入学試験実施本部

〒722-8506 広島県尾道市久山田町1600番地2  
TEL 0848-22-8311 (代表)  
0848-22-8381 (直通)  
FAX 0848-22-5460  
(受付時間 平日9:00 ~ 17:00)  
ホームページ <https://www.onomichi-u.ac.jp/>